

(5) その他

1) 補習授業

工学部は 26 年度補習授業として下記のように実施した。

・補習教育:

26 年度は、入学式の翌日に全新生入生に対して物理・化学・数学の基礎学力テストを実施した。教員の負担軽減のためにマークシート方式とし、採点集計については外部委託した。成績については WebCT に入力し、学生個人が自らの成績を閲覧できるようにした。前年度と同様、物理・化学・数学について、成績下位 10%の学生および希望する学生に対して補習授業を実施した。物理および化学の補習授業は、担当教員による講義と演習を4月末から毎週 1 回、合計それぞれ 10 回実施した。数学の補習授業は、講師1名に対して学生 10 名程度のクラスを設け、5 月から毎週 1 回、合計それぞれ 10 回実施した。補習授業開始時に補習授業の位置づけを受講者に説明して意識を高めるとともに、出席状況のモニター結果に基づいて各学科において指導を行ったが、出席率は物理 92%、化学 76%、数学 68%であった。また、本年度は補習授業終了時に補習授業に対するアンケート調査を行うとともに、到達度試験を実施して補習授業の成果について検証を行った。その結果、一定の効果が得られていることが実証された。

・基礎解析(留学生科目):

前学期と後学期でそれぞれ留学生を対象に開講した。ほぼマンツーマンに近い形で個々の学生の苦手とする数学科目、特に「微分積分」「線形代数」の内容について、講師による丁寧な解説と問題演習の反復により、学生の理解の促進を図った。また、数学教育に加えて、プレゼンテーション演習を授業に組み入れることで、留学生の日本語コミュニケーション能力の向上も目指した。